

リクガメの飼い方

Reptile & Amphibian



リクガメとは

世界各地の熱帯から温帯地域に広く分布しています。歴史も古く、最古のカメは約2億年前から生息しています。ほとんどの種類が甲長（甲羅の長さ）20cm以上（ケツメリクガメで最大約70cm）になるので、広いスペースが必要になります。とても長生きで、上手に飼えば30～50年は生きます。

和名：リクガメ
分布：アフリカ大陸、ヨーロッパ、アジア、北米、中南米など

リクガメと楽しく暮らすために！

主な種類



ケツメリクガメ

甲長が最大約70cmになる大型の種類です。



アカアシガメ

四肢と頭部にオレンジや赤色の斑点があります。上から見るとひょうたん型です。



ギリシャリクガメ

ギリシャモザイクのような模様がある人気種です。



ヘルマンリクガメ

甲長は約20cm前後、小型で丈夫です。



ホシガメ

盛り上がった形と、きれいな模様が特長です。



ヒョウモンリクガメ

約柄が特長です。成長すると甲長が約40～70cmになります。



ロシアリクガメ

ホルスフィールドリクガメ、ヨツユビリクガメとも呼ばれます。

●他にもバンケーキリクガメ、セオレガメなど多くの種類がいます。

こんな場合は…

呼吸音が
おかしい

肺炎の恐れもあるので、ケージ内の温度を確認してください。温度が低いようなら、設定温度をあげる、W数の高いランプに変更する、パネルヒーターの位置を確認するなどしてケージ内全体を暖めてください。



※パネルタイプヒーターは白熱球の設置側に設置してください。

甲羅が
やわらかい

こんな症状の他、少しでもおかしいと感じたら爬虫類を診てくれる動物病院へ連れて行きましょう。早目に連れて行くことで症状も早く回復します。1日でも長く一緒に暮らせるように、毎日、変わった所はないかしっかりチェックしましょう。

ベットは最後まで責任を持って飼育しましょう。

生き物を触った後は必ず手を洗いましょう。

口のあたりが
おかしい

気張っているのに
排泄物がでない



当社はより一層の品質向上をめざし、ペット用品メーカーとして初めて品質保証の国際規格であるISO9001の認証を取得しました。

EXO TERRA専用ホームページ
www.gex-fp.co.jp/exoterra 充実の動画コンテンツ！

GEX このやさしさを人と社会へ
ジェックス株式会社



リクガメの飼い方

えさ・飲み水

基本的に草食性です。野菜や野草を与えてください。市販のリクガメ専用フードは栄養バランスを考えて作られているので便利です。人工フード以外を与える場合や栄養のかたよりの回避、骨・甲羅の形成のためにもビタミン類やカルシウム等のミネラル類は必要です。飲み水にカルシウムチャージやイオンチャージを入れることで簡単に成長に必要な成分を補うことができます。



えさ皿・水飲み皿

食べやすく、ひっくり返しにくい安定した皿がオススメです。水飲み皿は体が入れるような大きさがベターです。食べ残しがある時は、すぐに処分してください。皿は、毎日洗って清潔にしてあげてください。水も毎日交換して、キレイな水を常に用意してあげてください。



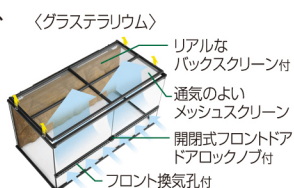
お手入れ用品

オーナメントやえさ皿・水飲み皿の有機物による汚れや、ガラスケージについたカルシウム・石灰汚れをきれいに落とすことができます。フン・生き餌など気になるニオイを分解して消臭する消臭剤も使用して快適な環境に。爬虫類専用なので安心です。



ケージ

お手入れ、お世話がしやすい、フロントドア・ガラス製のケージが便利です。リクガメは大きくなるので、初めから大きめのケージを用意してあげてください。甲長の約4〜5倍の大きさがが必要です。



アクセサリ・シェルター

リクガメが隠れることのできるシェルター(甲羅がすっぽり入るサイズ)を用意してあげてください。クールダウンや紫外線回避、ストレス回避のためにも隠れたり、落ち着ける場所を作ってあげてください。



床材

掃除しやすく、フンも見えやすいものがおすすです。フンなどの排泄物は毎日取り除き、キレイに保ってあげましょう。また、定期的に床材は交換しましょう。

〈ディスプレイ例〉
ガラステラリウム4545 (幅45cmタイプ)
甲長目安: 10cm以下



有効紫外線

自然界では日光浴をすることによって紫外線 (UVB) を浴びてビタミンD3を合成して骨格を形成しています。飼育下でも紫外線 (UVB) が照射できる蛍光灯を設置し、1日12時間は紫外線 (UVB) を浴びられる環境を作ってあげましょう。たまには庭やベランダなどに出て、自然光での日光浴をさせてあげてください。外敵に襲われたり脱走しない場所で行なってください。

紫外線ランプ照射器具: コンパクトトップ
紫外線ランプ: ナチュラルライトとレプタイルUVB100もしくは、UVB150の併用がオススメ



ライティング

自然光に近い光を設置することでリクガメの成長、活動環境を整えます。リクガメにはケージ内の空気全体を暖めてあげることが大切です。バスキングスポットを作るためにもランプは必要です。熱源となるランプ器具は、ケージの上部もしくは内部上辺に設置してください。生体に近すぎると目に悪影響を与えたり、火傷の可能性があるので注意してください。

白熱球照射器具:
ライトドーム(ライトスタンド)
白熱球:
昼間はソーラークローUV・サングロー、
夜間はヒートグローがオススメ



温度・湿度計

リクガメに快適な環境が作れているか定期的にチェックが必要です。

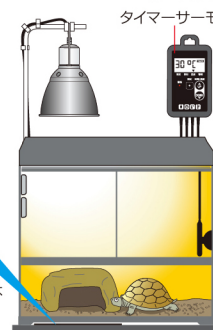


デジタル温湿度計
※メモリー機能付



ヒーター

パネルタイプのヒーターをケージの底に設置してください。ケージの1/3〜1/2サイズの物を用意し、その上にシェルターを設置してください。タイマーサーモを使用すれば、昼夜の2段階温度管理ができ便利です。



設定温度・湿度

日中	32〜36℃ を目安に	温度は種類によって違います。飼育しているリクガメによって調節してください。
夜間	26〜28℃ を目安に	ケージ内全体が暑くなりすぎないように温度が低い場所を作ってあげてください。
湿度	飼育種によって違います。飼育種によって調節してください。	

リクガメの体を知ろう

他の爬虫類との違いは甲羅があることです。

⚠️ 転倒注意

リクガメは何かの拍子で転倒すると起きあがれないことがあります。



水棲ガメより、色の識別や視力は高いといわれています。

甲羅

硬い甲羅で身を守ります。甲羅は骨と一体化しています。

目

水棲ガメより、色の識別や視力は高いといわれています。

鼻

顔の先端にあり、行動の大部分を視覚と嗅覚に頼っています。

口

くちばしがあり、歯はありません。よく噛むことができず、舌で食べ物をおののぼります。

耳

聴力はあまりよくありません。

肢

硬いところで動かしています。